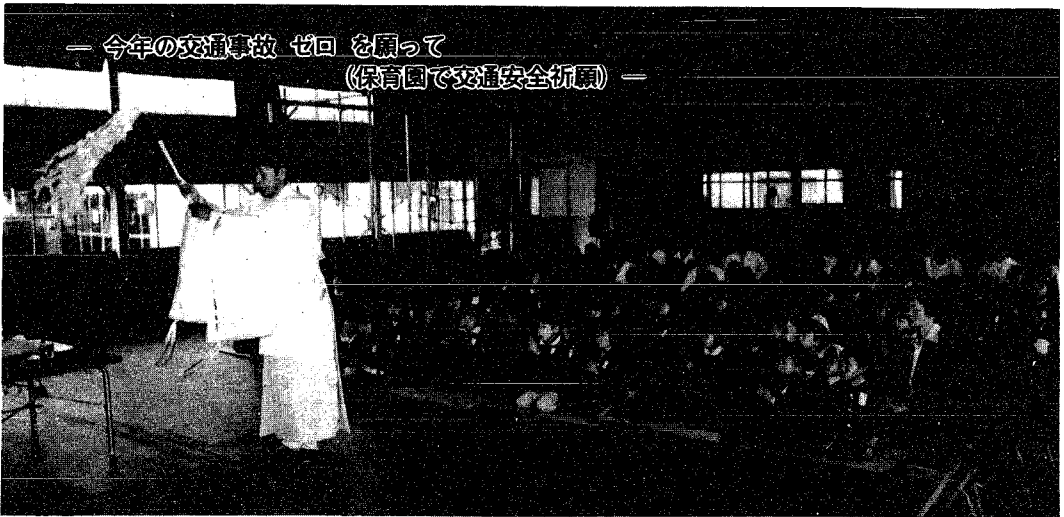


# つきがた 広報

No. 146

昭和57年1月10日発行  
発行/新潟県月潟村役場  
毎月10日発行 1部10円

人口動態	12月31日現在		12月中の移動	
	世帯数 814	人口総数 3,856	出生 4	死亡 1
	(男 1,877 女 1,979)		転入 9	転出 3



— 今年の交通事故 ゼロ を願って  
(保育園で交通安全祈願) —



新年のごあいさつ

月潟村長

金子 由一郎

昭和五十七年の新春を迎え、皆様方の御健勝を心からお慶び申し上げます。

昨年は六月に病に倒れ、又助役選任につきましては、まことに申し訳ない不祥事が発生しまして、皆様方に多大な御心配、御迷惑をおかけしましたことを衷心より深くお詫び申し上げます。今年からは少しづつでも登庁し、今迄御迷惑をおかけした分も取返すよう頑張りますので格段の御協力をお願い申し上げます。

お除様で昨年は工業再配置補助金により、月潟、東長島、釣寄の三部落に集落開発センターの竣工を見る事が出来ました。各部落におけるコミュニティ施設として大きな役割をはたすものと期待しております。又曲通地内の宅排事業、野球場、テニスコート建設事業、保育園増築工事等当初計画した事業についてはほぼ達成出来ましたことは、皆様方の御理解の賜ものと厚く御礼申し上げます。八月には北日本ブルボン工場の操業開始があり、村にとっては始めての大型企業の進出であり、今後の村

経済、労働条件等大きく変貌するものと考えます。

82年は、第二次臨時行政調査会の行政改革に関する第一次答申により、国家予算はまことに厳しいものがあります。財政構造の弱い本村にとりましては、一層むずかしい年になると思いますが、農村総合整備モデル事業、地区再編農業構造改善事業、道路改良宅地排水事業、水田利用再編対策事業、小型ポンプ積載車の導入等の諸事業の推進をはかる所存であります。村でも昨年庁内に機構改善研究会を設置しまして、事務事業の見直しを行って来ましたが、少しでも冗費の節減をはかり、皆様の要望にこたえたいと考えております。

又行政に対し失われた信頼を取り戻すため、庁内一体となり「誠実」を持って、本年が新しい明るい村造りの踏み出しになるよう懸命に努力いたしますので何分の御協力をお願い申し上げます。

おわりに皆様方の御多幸をお祈りし、新年のごあいさつといたします。